

県議会議員

まさ はる

いたみ雅治

県政報告

2023.3 発行



編集・発行/いたみ雅治事務所
〒411-0035 三島市大宮町3-14-15
Tel & Fax:055-975-7896
https://m-itami.com/

ふるさと三島市を
もっと元気にするために
活動しています!



持続的に発展するまち

コロナ禍に加え、物価の高騰など、
中小企業への打撃は計り知れません。
そういった問題への対応を迅速にする一方で、
中長期的な発展を見据え、脱炭素、デジタル化にも
対応していかなければなりません。
地域を活性化し、元気なまちをつくることが
高齢化社会や少子化問題への対応策としても、必要不可欠です。

補助金の内容など、
詳細が決まり次第、
お知らせします!



令和5年度予算に 要望を反映させることができた主な事業

自民改革会議の政調副会長として、昨夏頃から県内各市町に出向き、
地域の抱える課題、各業界や団体からの要望など、たくさんのお話を直接聞いてきました。
コロナの爪痕は大きく、アフターコロナに向け、みなさんを後押しできるような対策が必須です。
みなさんの声を反映させることができた来年度予算の一部を紹介します。

災害に強く、安心安全で住みやすいまち

熱海の土石流問題をはじめ、昨年、清水区を襲った台風15号など、
みなさんが不安になっている、激甚化する自然災害に対して、迅速に対応する必要があります。

新規 台風15号の被害を踏まえた 河川の緊急浚渫対策 5億円

浚渫（しゅんせつ）とは、河川や港湾などで水底の土砂等を掘りあげる工事のこと。普段、溢れるはずがないと思っていた川が、台風15号では大きな被害をもたらしました。日頃から、水底を整備しておくことが重要です。

新規 河川の河道拡幅、 砂防堰堤の整備 25億円

砂防堰堤（さぼうえんてい）とは河川に設置されるダムのこと。川底が削られたり、岸が崩れるのを防ぎ、水の流れを遅くするため、一度に大量の土砂が流出するのを防ぎます。

浄水場や変電所周辺等を整備します。
(R5~6/50億円)

新規 駅・バス停周辺などの道路拡幅、 歩道の段差解消など 25億円

安全に移動・交流できる環境を整備するため、歩行者、自転車の多い駅・バス停周辺等において、安全な移動空間を確保します。

- 自転車通行空間の確保
 - 防護柵の設置 など
- その他、県内周遊観光に向けた環境整備、にぎわい拠点へのアクセス整備をします。
(R5~6/50億円)



*イラストはイメージです

脱炭素社会実現推進事業費 6億1,100万円

中小企業、個人事業主、
社会福祉法人等の
省エネルギー機器導入等を支援

制度拡充

特別枠の創設
(補助率2/3、上限600万円)、
対象設備の追加 ほか



新規 原材料、価格高騰等の影響受け、 新たな事業展開を図る取り組みを支援 2億円

物価高騰の影響を受ける
中小企業等の
新サービスの展開など、
業態転換の取り組みを支援
(補助率2/3、上限300万円)



小規模事業者の 新たなビジネスモデル構築への支援 3億4,900万円

物価高騰の影響を受ける
事業者による新商品
開発の取り組みへの
補助率引き上げ
(補助率2/3、
上限50万円/件)



新規 農業者の設備支援 1億円

中小規模農業者の事業継続に必要な
設備等の更新・改修を
支援 (補助率1/3)



宿泊キャンペーン等 観光誘客支援 9億2,100万円

観光需要の早期回復に向けた「今こそ静岡元気旅」などの宿泊キャンペーンを予定。

①県独自の県内旅行を展開します

- 食、歴史、文化、体験などによる旅行支援
- 団体旅行への支援 (バス代支援)

②県内旅行代金割引

全国旅行支援のようなキャンペーンを
継続できるかは3月下旬に決定

